

大坂市立兒童相談所を訪ふ (一)

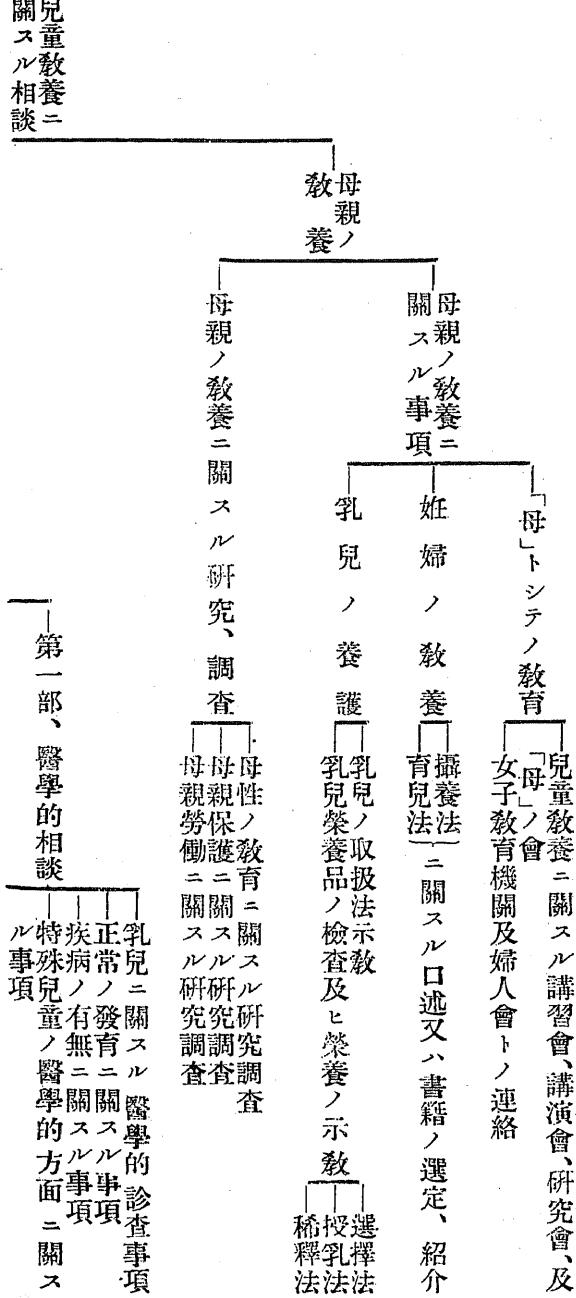
今度の大會に出席したを幸に一日、大阪南區官津

の概略を皆様に紹介致しく存じました。

町三五七番地なる大阪市立児童相談所を訪問いたしました。近畿守付一先生の懇切なご説明により、

該相談所は本年七月一日より開所された相ですが、その事業の概要は左表に明らかであると思ひます。

なる抱負とを承り興味深く感じた私は些かこの事業



第二部及第三部ノ相談事項中
醫學的方面ニ關スル事項

兒童ノ教養ニ關スル相談

第二部、教育的相談

教育ニ關スル事項
職業選擇ニ關スル事項
特殊兒童ノ精神的方面ニ關スル事項

兒童ノ
教養

第三部、家事的相談

食物ニ關スル事項
衣服ニ關スル事項
住居ニ關スル事項
娛樂ニ關スル事項

兒童ノ教養ニ關スル研究、調査

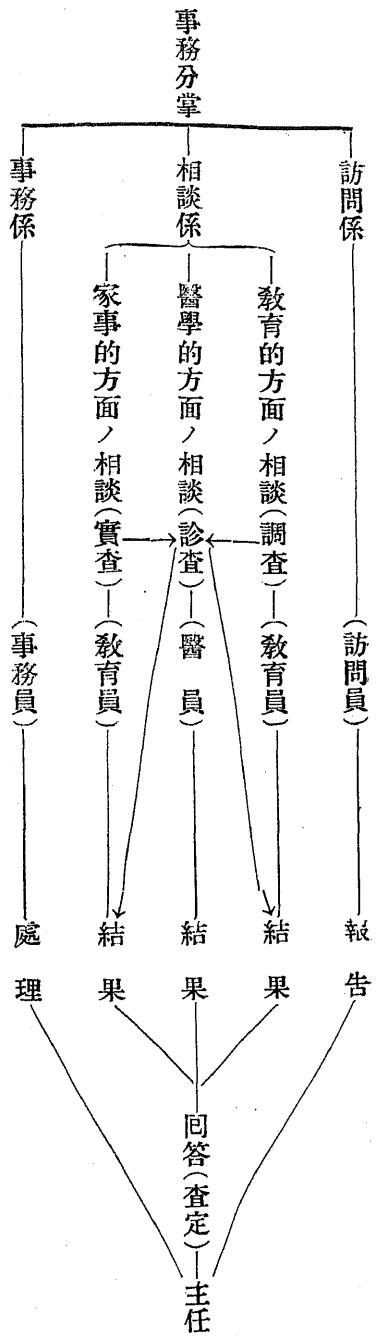
大都市兒童心身正常標準ノ研究、調査
少年職業、兒童勞働ニ關スル研究、調査
特殊兒童ノ運動、遊戲、娛樂ニ關スル研究、調査
兒童ノ心身ニ關スル研究、調査

當所ニテ兒童ト稱スルハ満二十歳以下ノ男女ヲ云フ
當所ニ特殊兒童ト稱スルハ左ノ三種トス

甲………身體薄弱兒童

乙………精神薄弱兒童

丙………精神低格兒童



児童の研究はその身體の方面を基礎とすべきで、従つて先づ醫學上から出發して児童の健康診斷を行ふ事を第一にせねばならぬと云ふ事が竹村先生の主義です。それ故この相談所ではどんな種類の相談でも必ず一度身體検査を行ふ事になつてゐます。

此處で児童と云ふ中には乳兒期から満二十才迄が含まれてゐますが實際相談に來るのは乳兒期から小学校期のものが多いそうです。受相談人員は平均一日廿名位で午前は主に所員の研究時間にあて、午後を實務の時と致してゐます。

先づ相談に來る人があると、受付は其の來意を問

ひそれに由つて醫學的相談か教育的相談か、家事的相談かを定めます。子供を連れずに相談に來たものは必ず次の時に連れて來させます。そして綿密に身體検査を行ひます。その際に全く専門醫にまかせねばならぬ疾病あるものは直ちに相談所から紹介状をそへその方に送ります。格別の疾病なきものに於ては別に出來た表に詳細に診斷の結果を記入して其の相談の要件が教育に關する事ならば又次の日に來所させる様にして、その間教育部の係員は診斷書の中から自分に必要な項目の所だけを書きぬいて次に來た時にいろいろ尋ねて相談をするのです。

其のためには家庭訪問やら學校に問合せをするやら
實務は仲々繁雜になつて参ります。

相談をすると申しましても其場で係員が即答する
と云ふ様な輕率な事は致しません。前掲の「事務分
掌」の表にもある様に各部で慎重に調査し各々が意
見を具して之が主任の所に集まる譯です。それには
個性診査表が甲、乙、丙、の三通りあつて、醫學部
(黒色刷) 教育部(綠色刷)、家事部(赤色刷)(これ
は計畫中)となつてゐてそれに記入するのです。そ
の甲も乙も其の表の形式が私共幼稚園關係者にとつ
て餘程参考になると思ひますので、何れ次回に其表
を紹介致しませう。

一方に家庭訪問部員はそれぐるに活動致します
が、もし直接當該の家を訪問する事の出來ない事情
の場合などは近隣で問合せたりして出来るだけ事實
を慥かにする様に努めます。かくして相談を受けた
兒童一人一人に個人的指導を與へ適切なる回答をな
すに遺憾なからしめるために力を盡して調査考究す
る譯です。因に家庭訪問録の様式は目下次の様なもの
のを用ひて居るそうです。

(錄問訪家庭)

居住	業副及業主	所場			父	母	家庭
							姓名年齢
							營養及現狀